

かけ算九九 で数えよう


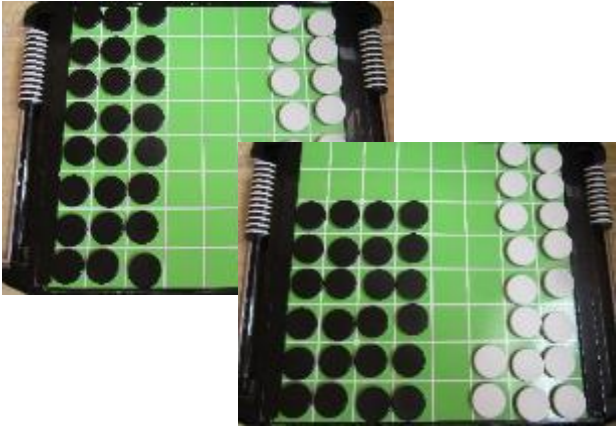



教科との関連

算数・生活

よく使う日本語

いくつ?【数】 ~ずつまとめましょう。【整理】
~するためには、どうしたらいいでしょう。【方法】

基本的な流れ	指導のポイント
<p>1 ゲームを楽しむ (聞く・話す活動)</p> 	<p>○ルールを知らない児童には操作をしながら教える。操作をしながら「はさむ」「うらがえす」などの意味を理解させる。</p> <p>T:「白を黒ではさむと、黒に変わります。最後に多いほうが勝ちです。」 T:「黒をはさむためには、どうしたらいいでしょう。」</p> <p>とにかく楽しく遊ぶ 勝ったり、負けたりを体験させましょう。少し先を読む力、ルールを守る力など遊びの中に学びがあります。山くずし、五目ならべでも遊ぶことができます。</p>
<p>2 ゲームが終わったら、コマをかけ算を使って数える。 (聞く・話す活動)</p> 	<p>○コマをアレイ図のようにして、かけ算で数える。</p> <p>T:「速く数えるためには、どうしたらいいでしょう?」 S:「コマをまとめます。」 T:「8個の列が3列できました。いくつですか?」 S:「8×3で24です。」</p> <p>さらに発展させるなら ゲームから離れ、コマのつかみ取りで、早く計算して数えるゲームにうつるとよいでしょう。8の段だけではなく、いろいろな段で計算させましょう。8×3は6×4に変形できるなどを体験させるとよいでしょう。</p>
<p>3 九九を使ったいろいろなゲームに取り組む。(読む・話す活動) ※ここでは九九ビンゴを行う</p> 	<p>○実態に応じて活動を変える。かけ算九九表や具体物を見ながらやるとよい。</p> <p>「4の段の答えを書きましょう。」 「4のまとまりが2つでいくつですか?」 S:「4×2で8です。」 「ビンゴ表の8に○をつけましょう」</p> <p>※高学年以上は、 ・かけ算九九が身に付いている場合は、活動のレベルを上げ、実態に応じた活動にする。 ・その場合も計算練習ではなく、具体物を使った活動にする。</p>

かけ算九九はゲームで指導【後編】授業で使える楽しい活動9選 みんなの教育技術(<https://kyoiku.sho.jp/20298/>)よりダウンロードしました。